

萬草

みんなと一緒に



昨12月の中頃は、首都圏でも日々の感染者が一桁という日が続いておりました。

“この貴重な時を逃すな”との考えから、クラス別でやっていた誕生日会を、

今回はみんなでホールに集まり行いました。ホールにみんなで集まる体験をしたことの無いお友達もたくさん居て、たったそれだけで何かワクワク感が生まれます。

12月の演目はまず顔出し大型紙芝居、次にサンタ姿になった保育者から出されるクリスマス三択クイズ、そしてとって置きは毎年のことながら、子ども達に人気のブラックパネルシアターです。暗い中で光って見える舞台は、とても幻想的です。鈴の音がはずむ様なリズムに乗せ、サンタのソリが南極からハワイ、そしてみんなの街へと次々に



世界中の子ども達に、プレゼントを配って廻る物語です。

そのメロディの中で、♪クリスマス、クリスマス世界中の鐘が鳴る

よ♪と何度ものリフレインの場面があり、子ども達からの歌声が段々出てきます。毎年のことながら、年に一度のこの時だけのメロディーなので、いつもの年は遠慮がちに鼻歌程度に歌っています。ところが今年はマスク越しながらその響きはみんなと一緒に歌う喜びにあふれ、次第に大きな声に変わってきています。“あっ、あんまり大きな声は…”

と思いながらも止めることは出来ませんでした。

今再び感染率の高いオミクロン株の勢いを目の当たりにすると、12月の誕生日会はずかの間の夢の様な時間でした。

